

さかの森林・林業ビジョン2023



佐賀県

令和5年(2023年)8月策定



1. さがの森林・林業ビジョン2023策定にあたり

佐賀県では、令和3年、ウッドショックによる木材価格の高騰をチャンスと捉え、「森を守る」、「人を育てる」、「木を使う」の3つの取組により「さがの林業再生プロジェクト」を始動しました。

また、約半世紀をかけ、成長が早く、強度があり、花粉が少ない、三拍子揃った「サガンズギ」を開発し、さがの森林・林業再生の切り札として苗木の生産や植栽を推進しています。

佐賀県の森林・林業をとりまく情勢が大きく変化する中、県民の期待及びさがの森林・林業の特色等を踏まえて、新たな「さがの森林・林業ビジョン2023」を策定しました。

2. ビジョンの概要

◆目標年度

中期目標を2032年度、長期目標を2050年度とします。

◆ビジョンの目指す姿

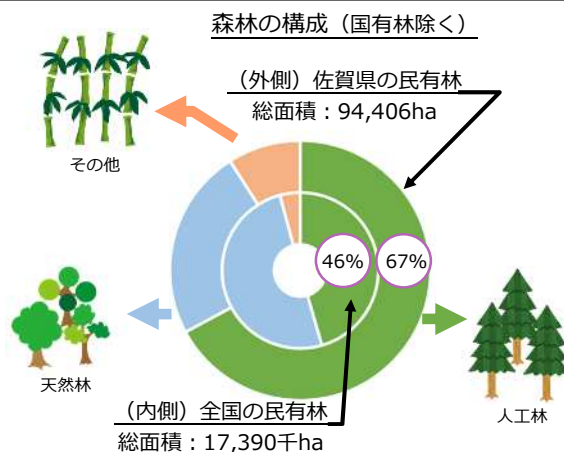
「持続可能なさがの森林・林業の確立」

3. さがの森林・林業の特色

全国一の人工林率



先人のたゆみない努力により、戦後、脊振山地や多良岳山地を中心としてスギやヒノキの植林が積極的に進められたことにより、**人工林率が67%と全国1位**となっています。



さがの林業再生プロジェクト始動

令和3年、ウッドショックで世界的に木材価格が高騰し、品薄となったピンチをチャンスと捉え、木を伐って（収穫）、使う、苗木を植えて、育てて、また伐るといった森林・林業の好循環を創出するため、「**さがの林業再生プロジェクト**」を始動しました。



期待の新しいスギ「サガンズギ」誕生



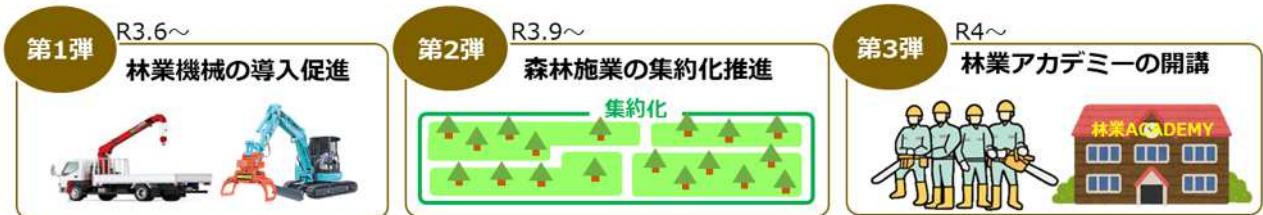
早い・強い・優しい三拍子揃ったスギの新品種。

佐賀県が、56年もの歳月をかけて開発し、2022年2月に苗木を初出荷しました。さがの森林・林業再生の切り札！

4. さがの林業再生プロジェクトの展開



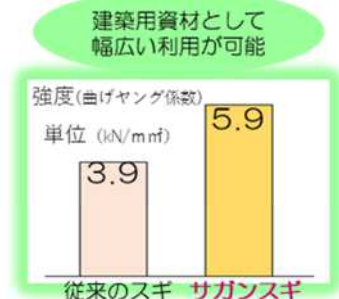
【主な取組】



5. サガンスギがさがの森林・林業を変える

早い 成長速度が1.5倍！
強い 木材強度が1.5倍！
優しい 花粉量が半分以下！

植林して30年後の木の高さ



植えて伐るまで
50年⇒**30年**へ！

下刈(草刈)回数
5回⇒**3回**へ！

「早・強・優」
3拍子そろった
スギは**全国初**！

6. ビジョンの目指す姿と基本方針

目指す姿：持続可能なさかの森林・林業の確立

【基本方針】

森を守る

多面的機能の発揮

- ◆間伐などによる適正な森林整備
- ◆多様な森林づくり
- ◆防災につながる森林づくり

木材の生産拡大

- ◆機械化・集約化による効率的な森林施業
- ◆伐採及びサガンスギによる再造林・保育

人を育てる

経営基盤の強化

- ◆生産性向上への取組強化
- ◆森林所有者の経営意識の向上
- ◆特用林産物の生産振興

林業担い手の確保・育成

- ◆労働環境の改善
- ◆さが林業アカデミーによる人材の確保

県民意識の醸成

- ◆森川海のつながりへの意識の醸成

木を使う

木材の供給体制の強化

- ◆県産木材の安定供給体制づくり
- ◆流通・加工体制の強化

木材の利用拡大

- ◆建築物の木造化・木質化
- ◆県産木材の新たな需要創出
- ◆県産木材利用やサガンスギの普及啓発

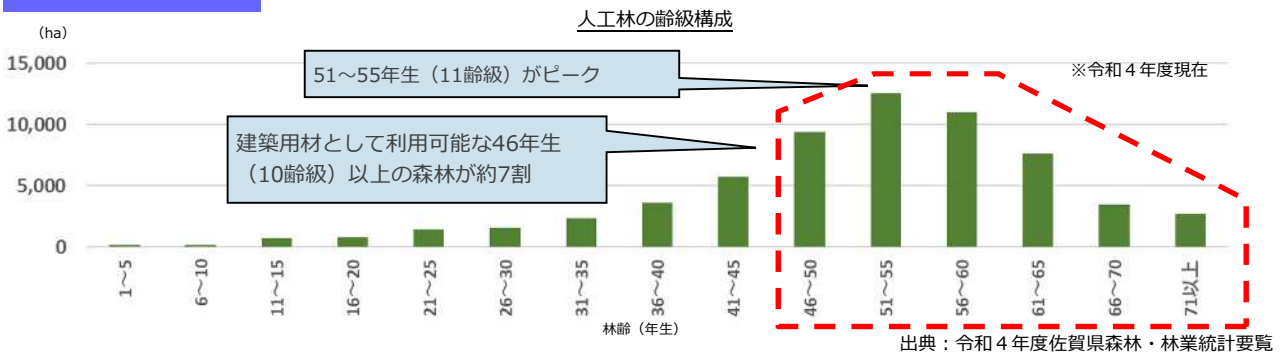
7. 佐賀県の森林・林業の現状と課題

集中豪雨による山地災害が多発



課題 防災などの多面的な機能の発揮

人工林資源が充実



木材価格が長期低迷→近年、外材不足等により価格が上昇



課題 木材の生産拡大 (収益があがる林業の展開)

小規模な森林所有者が多い

保有山林規模 1 ha以上 3 ha 未満の林家数割合

順位	都道府県名	割合
1	鹿児島県	76.8%
2	千葉県	72.6%
3	長崎県	71.9%
4	佐賀県	68.0%
5	新潟県	67.8%
全国平均		56.5%

出典：2020年農林業センサス

林業担い手が減少

林業担い手の推移



出典：佐賀県林業課調べ

課題 森林施業の集約化

課題 林業事業体の経営基盤の強化
林業担い手の確保・育成

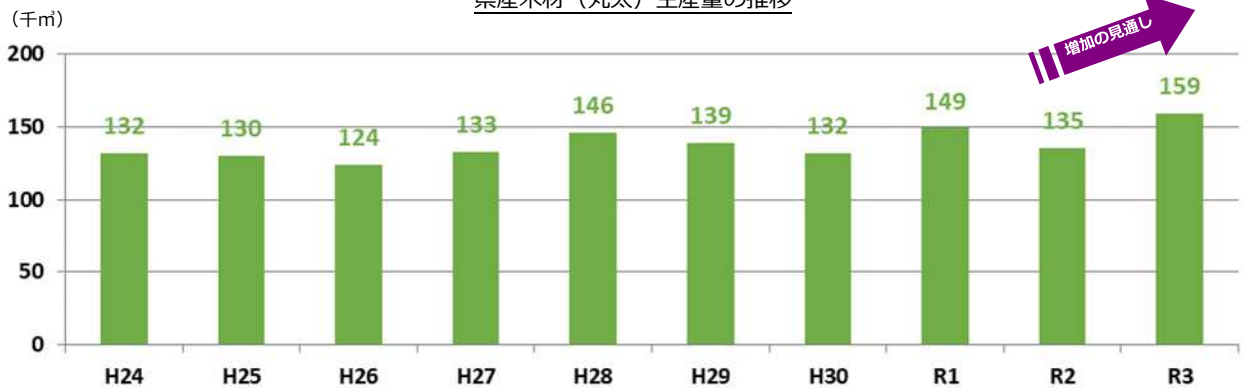
県民協働による森づくりが進んでいる



課題 県民意識のさらなる醸成

県産木材の生産量が増加傾向

県産木材（丸太）生産量の推移



増加の見通し

出典：佐賀県林業課調べ

課題 木材の流通体制の強化及び利用拡大

8. 取組方針

I 森を守る

1. 多面的機能の発揮

(1) 間伐などによる適正な森林整備

- ① 森林計画制度に即した適正な森林整備
- ② 佐賀県森林環境税等による荒廃森林の再生
- ③ 森林経営管理制度（森林環境譲与税）の円滑な運用
- ④ 間伐・再造林による森林吸収量の確保
- ⑤ 野生獣類や病害虫による被害の防止対策

(2) 多様な森林づくり

- ① 公益上重要な区域における針広混交林化を目的とした重点的な間伐
- ② 広葉樹の植栽推進
- ③ 県民協働による里山林の整備
- ④ 森林空間の利用拠点整備・強化

(3) 防災につながる森林づくり

- ① 被災した森林の治山事業による速やかな復旧
- ② 山地災害危険地区における事前防災の推進
- ③ 流域治水に関わる関係者の連携・対策
- ④ 保安林の適切な維持管理
- ⑤ 林地開発許可制度の適切な運用

2. 木材の生産拡大

(1) 機械化・集約化による効率的な森林施業の実施

- ① さがの林業再生プロジェクト等による機械化・集約化の推進
- ② 森林ゾーニングの有効活用
- ③ 森林資源情報の共有
- ④ 林道の整備促進・強靱化
- ⑤ 労働強度の負担軽減

(2) 伐採及びサガンスギによる再造林・保育の推進

- ① 主伐の推進及び法令に基づく再造林の徹底
- ② サガンスギ苗木生産供給体制の強化
- ③ サガンスギの植林推進

成果指標	現状 2021年度	目標 2032年度
再造林面積(年間)	41ha	170ha
間伐面積(年間)	1,107ha	1,900ha
山地災害危険地区(危険度評価『高』箇所)の着手率	55.8%	64.0%



Ⅱ 人を育てる

1. 経営基盤の強化			2. 林業担い手の確保・育成		
(1) 生産性向上への取組強化 ①機械化・集約化の取組強化 ②ICTの活用等によるデジタル化の推進 (2) 森林所有者の経営意識の向上 ①森林所有者に対する経営サポート ②小規模所有者の林業生産活動の推進 (3) 特用林産物の生産振興 ①原木シイタケの生産振興 ②新たな特用林産物の生産への取組			(1) 労働環境の改善 ①所得など労働条件の改善 ②快適な就業環境の整備 ③労働安全衛生の推進 (2) さが林業アカデミー等による人材の確保・技術向上 ①林業就業者を新たに見出し教育する取組 ②高性能林業機械等の研修によるスキルアップ		
成果指標			3. 県民意識の醸成		
	現状 2021年度	目標 2032年度	(1) 森川海のつながりへの意識の醸成 ①体験イベントや森づくりなどを行う「森川海人プロジェクト」の推進 ②子どもなどへの森林環境教育の推進 ③木育活動の強化・指導者の育成		
林業担い手の人数	249人	390人			
森林づくりボランティア活動者数(年間)	11,376人	13,200人			



森川海人プロジェクト キャプテン 森川海人(もりかわかいと)くん

Ⅲ 木を使う

1. 木材の供給体制の強化

(1) 県産木材の安定供給体制づくり

- ①川上から川下の木材供給ネットワークづくり

(2) 流通・加工体制の強化

- ①木材市場の機能強化
- ②製材工場の施設整備
- ③小規模製材工場による生産体制の強化

2. 木材の利用拡大

(1) 建築物の木造化・木質化の推進

- ①住宅・非住宅建築物における県産木材利用の推進
- ②「佐賀県建築物木材利用促進方針」に基づく公共建築物や中大規模建築物の木造化・木質化

(2) 県産木材の新たな需要創出

- ①家具や公共工事等新たな用途の開発・多角的利用
- ②森林所有者への還元につながる木質バイオマス利用の推進

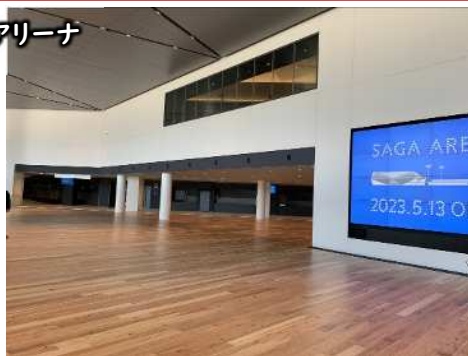
(3) 県産木材利用やサガンスギの普及啓発

- ①木材利用の意識の醸成
- ②木育活動の強化・指導者の育成（再掲）
- ③サガンスギのPR強化

成果指標	現状 2021年度	目標 2032年度
県産木材の生産量(年間)	159千m ³	230千m ³
公共建築物の木造・木質化率	73%	83%



SAGAアリーナ



SAGAサンライズパーク
(パークテラス)



ARKS (アルクス)

公共施設等への県産木材の積極的利用

目指す姿

持続可能なさかの森林・林業の確立

長期目標

2050年度（令和32年度）

森林の有する多
面的機能の発揮

林業の持続的かつ健全な発展

森と川・海の結びつきの強化

2050年カーボンニュートラル実現への貢献

9. 佐賀県のすがた

虹の松原
日本三大松原の一つで国の特別名勝に指定されている、全長約4.5km、幅約500mに渡って続くクロマツ林。

小川内の杉
3本の株のうち2本が寄り添っていることから「夫婦杉」とも呼ばれる樹齢500年以上の巨木。平成28年度に五ヶ山ダム建設により移植された。

レイクサイド北山
北山ダム周辺にキャンプ場やサイクリングロード、森林についての学習施設が整備されている。

伊万里木材コンビナート
集成材を大量かつ安定的に生産することを目的として、平成17年度から稼働している。主に九州のスギを活用して丸太の集荷、製材、集成材の生産まで同じエリアで行われている。

川古の大楠
川古の大楠（武雄市）は、全国で第5位※にランキングされる巨木で国の天然記念物に指定されている。

多良岳材
鹿島藤津地域で枝打ちや間伐等の施業基準を定めて生産される優良材。「多良岳材」として、ブランド化が進められている。

日本植林発祥の地
基山（三養基郡基山町）は、『日本書紀』によると、日本で最初の植林の地とされている。

サザンカ自生北限地
千石山（神埼郡吉野ヶ里町）のサザンカは自生北限地帯として国の天然記念物に指定されている。

下合瀬の大カツラ
樹齢1,000年と推定される巨木であり、昭和37年に国の天然記念物に指定された。

※環境省「自然環境保全基礎調査」より

10. 森川海人っプロジェクト

平成29年7月九州北部豪雨では、流木が漂着し、大きな被害に

森川海人っプロジェクト
キャプテン森川海人(もりかわかいと)くん▼

漁協の山
企業や団体の皆さんも
森林保全活動に取り組んでいます！！

人が未来へつなぎます！
森川海人っプロジェクト

森・川・海の豊かな自然環境を守り、未来へ継承するため、
県内各地で「森川海人っプロジェクト」に取り組んでいます。

森

川

海

KAWARUプロジェクト
KAWARU交流会
KAWARUチャレンジ事業
松原川 カヌー・川床体験

波戸岬ビーチ
クリーンアップ

虹の松原清掃活動

森川海人っ日体験スクール

「チーム森川海人っ」に105企業・団体登録！（令和5年4月末現在）